

ゼンリンの「3D 高精度地図データ」が日産自動車の世界初 インテリジェント高速道路ルート走行(3D 高精度地図データ搭載) 「ProPILOT 2.0」に採用！

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司 以下、ゼンリン)が整備・提供する「3D 高精度地図データ」が、この度、日産自動車株式会社(以下、日産)の世界初 インテリジェント高速道路ルート走行(3D 高精度地図データ搭載)「ProPILOT 2.0」に採用されました。

今後もゼンリンは、高度なモビリティ社会の到来を見据えて研究開発・用途開発を進め、正確で利用価値の高い地図情報、位置情報を整備・提供することで、安全・安心な交通社会の実現と自動運転技術の発展に貢献することを目指します。

■「3D 高精度地図データ」概要

ゼンリンの 3D 高精度地図データは、ダイナミックマップ基盤株式会社^{※1}の 3 次元地図共通基盤データをベースに、ゼンリンが独自に収集・整備した情報を加えた地図データになります。この 3D 高精度地図データを車両に搭載されたその他センサー類と組み合わせて使用することで、車両の周囲 360 度の情報と道路上の正確な位置の把握が可能となります。

※1 自動走行・安全運転支援システムの実現に必要な高精度3次元地図の協調領域における整備や実証、運営を行うため、電機・地図・測量会社と自動車会社の共同出資により設立。当社はダイナミックマップ基盤株式会社への出資及び、協調領域の構築に対し参画。

■「3D 高精度地図データ」のイメージ

ゼンリンの 3D 高精度地図データにより、高速道路の細かな道路形状を事前に把握することができ、車両速度の制御やレーンごとの走行ルートの計画が可能となります。



高速道路 JCT の整備イメージ



高速道路分岐の整備イメージ

※記載されている社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。